

## ごあいさつ (事業の概況)

初夏の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は変わらぬご支援を賜り有り難く厚くお礼を申し上げます。

令和2年度は、年初から続く新型コロナウイルス感染症の世界的流行と感染症対策として打ち出された緊急事態宣言により人の移動や経済活動が制限され、これまでにない急速な景気の悪化を経験することとなり、地域経済においても大きな影響を受ける年となりました。この大きな被害を与えた感染症は未だ収束に至らず、引き続き感染対策と経済活動の両立が求められております。

このような状況下において、令和2年度の当金庫の業績につきましては、預金は期末残高215,179百万円となり、前年度末比4,285百万円の増加となりました。

貸出金は期末残高72,586百万円となり前年度末比1,886百万円の増加となりました。その結果、預貸率は33.73%となりました。

有価証券は期末残高86,643百万円となり、前年度末比2,395百万円の増加となりました。

損益状況につきましては、低金利環境が継続する中、金融機関の基本業務における収益力を表すコア業務純益は288百万円となり前年度末比68百万円増加いたしました。新型コロナウイルス感染症の影響等によるお取引先の業況悪化に対する予防的な引当金の積み増しと有価証券の損失処理、並びに店舗統廃合による減損処理等を実施した結果、経常損失683百万円、当期純損失780百万円となりました。

令和2年度では、信用金庫の原点である「相互扶助」の理念に基づき、円滑な金融仲介機能の発揮や良質な金融サービスの提供に努めるとともに、お客様の様々な課題を解決し、お客様と共に豊かな地域の未来を創り上げていく「共創」により、地域の皆様方のお役に立てる金融機関を目指してまいりました。

令和3年度におきましても引き続き、お客様に信頼され必要とされる協同組織金融機関として、コンプライアンスを経営の最重要課題としたうえで健全経営に努めるとともに、新型コロナウイルスの影響などによる中小企業や個人のお客様の抱える諸問題をきめ細やかに把握し、金融仲介機能やコンサルティング機能を十分に発揮することにより地域の持続的発展に貢献するべく役職員一丸となって業務に邁進する所存でございます。

結びに皆様方の一層のご発展、ご隆昌を心からお祈り申し上げますとともに、新年度も一層のご愛顧を賜りますよう切にお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

令和3年7月



理事長 大堀 芳和